

- ② 北杜市と相互応援協定を締結
- ③ 文化会館がリニューアル
- ④-⑤ 特集 ロック×福祉で幸せに
何があってもだいじょうぶ
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」「カタログポケット」 ネットは「マイ広報紙」

「生きる」を 楽しむ エネルギー

それでもビューティフル
いつまでも ワンダフル世界
かならずビューティフル
どこまでも ワンダフル世界
とってもビューティフル
生きている ワンダフル世界
幸せになるため生まれてきたんだ
生きていることが大好きなのさ

サルサガムテープ
『ワンダフル世界』より抜粋
作詞作曲：かしわ哲

市HPで演奏の
動画を公開中



《4・5面に関連記事》

プラスチックのバケツにガムテープを張った太鼓をダンダンドンと叩く音、自由な歌声。旭町にある福祉事業所では、ライブに向けメンバーが練習をしています。エレキギターをかき鳴らすのはリーダーのかしわ哲さん（74）。知的障がいがある人たちとロックバンド「サルサガムテープ」を組み、今年で30周年を迎えました。

かしわさんは教育テレビ番組「おかあさんといっしょ」5代目うたのおにいさんとして活躍。福祉施設に招かれ演奏する機会が多くありました。踊り、歓声を上げ、素直な反応を見せる皆さんを「最高の観客」と感じ、一緒にバンドを組んだら最高に楽しいだろうと1994年に活動をスタートしました。

「ロックンロールも福祉も、全ての生き方を肯定してみんなが幸せになるためにある」。バンドでは演奏の指導はせず、ただ一緒に音を出し楽しむだけ。上手も下手も、年齢も性別も障がいも関係ありません。ここには音楽を、生きることを楽しむエネルギーが満ちあふれています。

12月3～9日は障害者週間です。関心や理解を深めましょう。
☎障がい福祉課 ☎225-2221

Zoom Up

災害時の物資提供や職員派遣などで協力

北杜市と相互応援協定を締結

都心南部直下地震や風水害などの大規模な災害に備えて、山梨県北杜市と相互応援に関する協定を締結しました。被害規模に合わせて、食料や生活必需品の提供、職員の派遣などで協力。災害発生時に自治体間で連携し、被害に対処します。

元日の能登半島地震や台風・大雨による風水害など、大規模な災害は各地で発生しています。災害時には被災していない自治体と連携することで、より速やかな対応が可能になります。災害に備え、都心南部直下地震の影響が少ないとされる候補地の中から山梨県北杜市に連携を申し入れ、「大規模災害時における相互応援に関する協定」を結びました。

災害時に物資や人員を提供可能に

市はこれまで、埼玉県狭山市と結ん

だ防災姉妹都市協定をはじめ、友好都市の秋田県横手市、北海道網走市、沖縄県糸満市と災害協定を結んできました。協定を結ぶことで災害時に要請の有無を問わず、相手方の被害規模に応じて食料や生活必需品、資機材などの提供や職員派遣などの協力ができます（左欄参照）。北杜市消防防災課の深澤朋彦さん（44）は「近年発生している災害を受け、自治体間での支援が重要と考え、他にも東京都や静岡県などの市町村と協定を結んでいる。神奈川県では初めて締結できたので、心強い」と話します。

災害に備えて

防災力を高めるため市では、災害や事故などの情報を人工知能（AI）でリアルタイムに解析・収集するシステムを導入。能登半島地震を踏まえた備蓄品の見直しなど防災・減災対策を進めています。また、被災時に取るべき行動をまとめた防災ポケットブックを配布しています。

災害は、いつ起こるか分かりません。一人一人ができることから取り組み、いざという時に備えましょう。

問 危機管理課 ☎225-2190



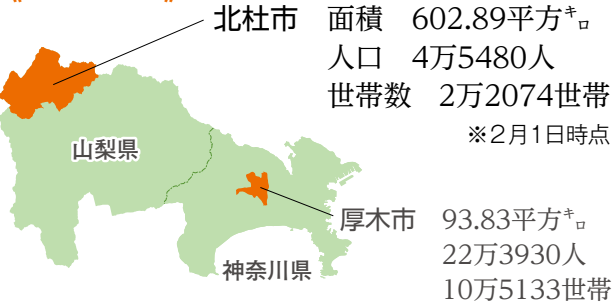
10月に北杜市役所で締結式を実施

北杜市との災害協定

《協定内容》

- ①食料や飲料水、生活必需品、資機材の提供
- ②被災者の救出や医療、防疫、施設復旧のための物資や資機材の提供
- ③救援や救助活動に必要な職員の派遣
- ④被災者の受け入れ

《プロフィール》



災害協定を結んでいる自治体

- 秋田県横手市 1986年5月～
- 埼玉県狭山市 1996年7月～
- 北海道網走市 2010年2月～
- 沖縄県糸満市 2021年12月～

70th 地域包括ケア市民講演会

人生の最期まで自分らしく生きる・良き人生の歩み方

住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らせる社会を目指し、講演を実施します。

日時 2025年2月11日 13～16時

場所 文化会館

内容 認知症やダウン症のある家族との暮らしや人生の最期に向けた準備などを講演

定員 1300人

費用 無料

申込 ハガキ、ファクス、Eメールにて住所、氏名、電話番号、車いす席・手話通訳・要約筆記の希望を書き、12月27日（消印有効）までに地域包括ケア推進課 ☎221-1640・✉1910@city.atsugi.kanagawa.jpへ。先着順（市民優先）。市HPからも申し込み可。

問 地域包括ケア推進課 ☎225-2200

講師プロフィール



にしおかすみこさん
1974年千葉県生まれ。お笑い芸人・エッセイスト



上野千鶴子さん
1948年富山県生まれ。社会学者・東京大学名誉教授。専門は女性学・ジェンダー研究、高齢者の介護とケアも研究



詳細はこちら

「かなちゃん手形」の購入費を一部助成

神奈中バスの乗車料金が割り引かれる「かなちゃん手形」の6カ月券の購入費用を一部補助します。

問 福祉総合支援課 ☎225-2220

《対象》 4月1日に市内在住で、2025年4月1日までに70歳以上になる方
※かなちゃん手形1年券購入・身体障害者等ガソリン購入費助成、福祉タクシー・高齢者タクシー利用券との重複不可。特別養護老人ホームに入所中の方は対象外

《自己負担額》 2000円
（5900円の6カ月券のうち3900円を助成）

問 12月20日～25年2月28日に福祉総合支援課へ。

かなちゃん手形購入までの流れ

①助成券を申請



福祉総合支援課で申請書を記入。その場で助成券を交付

②かなちゃん手形を購入



神奈中本厚木駅前サービスセンターで手形を購入。
《持ち物》 助成券、2.5センチ×2.5センチの顔写真、現金2000円





ホールの天井を耐震化



ライトアップ照明を設置



客席と舞台の床を張り替え



キッズスペースを新設



和室の床をコルクタイルに

利用案内

新しくなった施設で文化芸術を楽しみませんか。

■利用方法

初めて施設を利用する方は新規登録が必要。申込書と必要書類を提出し、登録完了後、直接、電話で仮予約可



詳細はこちら

■利用受付開始日

※受け付け初日は抽選会あり

施設	市内の方	市外の方
大・小ホール、展示室、集会室、和室	12力月前	11力月前
会議室	3力月前	2力月前

※貸し時間や利用料金などの詳細は文化会館HPに掲載

■イベント・公演などのチケット購入

①文化会館HP②チケット予約センター☎224-9999③窓口ーのいずれかで購入可



公演情報などはこちら

☎文化会館☎225-2588

Q Zoom Up

交流と活動を生む文化芸術の拠点に 文化会館がリニューアル

昨年7月から休館していた文化会館が改修工事を終え、1月4日に再開します。音楽、伝統文化などの発表や鑑賞の場として、これまで以上に皆さんに親しまれる施設を目指していきます。

快適に利用できる施設に

文化会館は、厚木の文化芸術の拠点施設として1978年に開館しました。市民の文化芸術の発表の場や音楽アーティストのライブ会場などとして使われ、年間約25万人が訪れています。施設の老朽化や劣化した設備の更新のため、昨年から改修工事を進めてきました。

改修工事では、老朽化したホール・舞台設備や空調機器の更新の他、ホールなどの天井の耐震化や外装レンガ壁の部分改修、照明のLED化などを実施しました。大・小ホールでは、良好な音響性能はそのまま生かしながら、客席と舞台の床を全面張り替え。さらに、改修に向けたアンケートで要望が多かった女性用トイレを増設した他、家族用トイレも新設し、混雑時の待ち時間の緩和につなげます。加えて、各階ごとに厚木の自然や文化にちなんだテーマカラーを決め、内装を一新しました。

誰でも利用しやすい施設になるよう、大・小ホールに補聴器と連動する

文化芸術の鑑賞や発表の場に

施設を使うには、新規利用の手続き後、電話などでの仮予約が必要です。イベントや公演などのチケットは、文化会館HPや電話などで予約し、購入できます（左欄参照）。文化芸術は、発表する人と見る人がいて盛り上がります。厚木の文化芸術の拠点として多くの方に利用いただき、親しまれる施設を目指していきます。

☎文化魅力創造課☎25-2508

文化会館リニューアル オープンイベント

無料



文化会館のオープンに合わせ、イベントを開催します。 ☎文化魅力創造課☎225-2508

《日時》1月5日 ①10時15分～12時②13時30分～15時30分

《公演》①相模里神楽垣澤社中、厚木交響楽団
②相模人形芝居長谷・林座、あつぎひがし座

《定員》①1300人②150人

☎不要。先着順。



詳細はこちら

マイナンバーカード 出張申請サポート

平日に市役所に行けない方も、予約なしでマイナンバーカードを申請できます。すでにカードを持っている方は、保険証と公金受取口座のひも付けができます。

《日時》12月7・8日 13～17時（8日は10時～）

《場所》アツギトレリス

《対象》市内に住民登録があり、初めて申請する方

《持ち物》マイナンバーカードや運転免許証などの本人確認書類



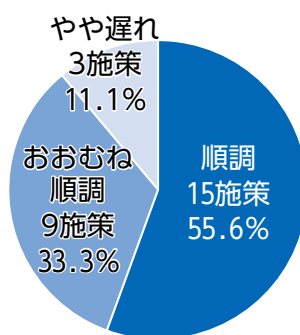
詳細はこちら

☎市民課☎225-2039

まちづくりの
進捗を確認

施策評価結果

第10次総合計画第1期基本計画に位置付ける27の基本施策について、昨年度の達成状況を検証しました。評価の結果は、今後の市政運営に活用していきます。 ☎企画政策課☎225-2455



施策評価って？

まちづくりの方向性を定めた総合計画の進捗を検証する仕組み。次の①～③の実績から各施策の達成率を点数化し、4段階で評価します。

- ①保育施設の入所率などの「代表となる指標」
- ②「市民実感度調査」の結果
- ③ごみ減量化・資源化推進事業などの「事業指標」

結果から分かること

- ・施策全体の約9割が順調またはおおむね順調
- ・施策の達成度を評価する「市民実感度」は77項目中58項目で上昇
- ・市民実感度が特に高かったのは「日常生活に必要な施設が身近にある」「消防・救急・救助体制の充実」「子育てサービスの充実」
- ・市の施策による市民の行動の変化は27項目中14項目で上昇
- ・幸福度は、「とても幸せ」「幸せ」「ふつう」と回答した人の合計が94.6%となり、0.4ポイント上昇



詳細はこちら



日課のバンド練習は本番さながらの盛り上がり



演奏を楽しむ加川さん(右)たち



本厚木駅前でのライブ



自作のガムテープ太鼓でノリノリ



演奏中は楽しさを全身で表現



リズムに合わせて歌うメンバー



電子機器を打ち鳴らす



ライブのセットリスト



県内でのライブの様子

特集 ロック×福祉で幸せに

何があってもだいじょうぶ

市内の福祉事業所を拠点に活動するロックンロールバンド・サルサガムテープ。今年で結成30周年を迎えたバンドの日常に目をやると、音楽の力でみんなの存在を肯定し、全力で楽しみながら地域とつながりを深める姿がありました。



約束事は「指導しない」

演奏や絵画の制作などで大切にして
いるのは「指導しない」こと。「その人
が空はピンクと言えはピンクでいい。
一人一人に歩んできた人生やドラマが
ある」と話すかしわさん。中にはバン
ド練習に参加するも3年間、叩かな
かったメンバーもいました。それでも
ただ見守り続け「やりたくなったらや
ればいい」と、意思を尊重してきました。
現在、バンドのメンバーは20〜70歳
代の約20人。事業所を利用する加川正
人さん(44・岡田)もメンバーの一人
です。加川さんはグループホームに住
みながら、週に5日、バスで通って
います。「絵を描いたり、料理したり、
みんなでできるのがうれしい」と、ス
タッフや仲間たちとの活動を楽しんで
います。昔から音楽が好きで、「事業
所でバンドができると思わなかった」
とドラム演奏の経験を生かしてバンド
を支えています。

そばにいろのが当たり前

「閉鎖的な事業所ではなく、誰でも
関われるよう扉を開けていきたい」。
年に1回、ずららん通りに3カ所ある
事業所や通りを会場に、緑日やお絵描
き、ステージなどを楽しめるイベン
トを開いています。「みんな大丈夫、何
があっても大丈夫」という意味を込め
「だいじょうぶまつり」と名付けら
れています。

スタッフの戸田淳介さん(40)は、
介助やスケジュール管理など、事業所
の責任者を務めながら、バンドでは
ボーカルを担っています。法人の設立
後すぐにアルバイトとして関わり始め
た戸田さん。「障がいのある人と関わ
ったことも、福祉の知識もなかったの
で不安だった。接してみると、人と人
が関わるということ自体に違いはなく、
それぞれが個性豊かな面白いメンバ
ーで、障がい者とひとくくりできない人
はいないと思った」。働きながら資格
を取り、福祉に関わる知識や技術を身
に付けました。間近で演奏を見て楽し
そうと思い、バンドにも参加。趣味で
ギター演奏など音楽に触れていた戸田
さんは、「メンバーはパフォーマーと
して高め合えるライブのような存
在。バンドはとにかくめっちゃ楽し
い」と話します。



エレキギターを手にするかしわさん

障がい者 相談支援センター

《相談時間》8時30分～17時15分
(祝日・年末年始を除く) 電話相談も可

担当地区	所在地	連絡先
荻野	鷲尾2-25-10	☎281-7908
厚木	中町4-6-11	☎259-5713
南毛利	恩名1-5-7	☎205-4307
睦合南	妻田西1-17-30	☎204-4655
小鮎・緑ヶ丘・ 玉川・森の里	小野2136	☎247-7111
依知	関口831-1	☎280-4875
睦合	三田1-4-16	☎281-7909
相川・南毛利南・ 厚木南	愛甲1-9-18	☎265-0711
基幹相談	保健福祉センター	☎225-2904

専門の相談員が、市内の障がい
のある方や家族、地域の方からの
相談を受け付けています。
☎障がい福祉課☎225-2221



詳細はこちら

ささいな事も相談して

厚木障がい者相談支援
センター
相談支援専門員
河嶋 明さん(52)



センターでは障がいに関する悩みを聞いたり、支
援サービスを受けるための手続きをしたりと、一人
一人に寄り添ったサポートをしています。相談しづ
らい気持ちや不安もあると思いますが、「話して良
かった」と安心してもらえるよう、和やかな雰囲気
づくりを心がけています。ささいなことや話がまと
まっていなくても問題ありません。どんなことでも
いいので、まずは話してほしいです。対面が難しい
場合でも、メールや電話で相談ができるので、気軽
にセンターを利用してください。



たよりを受けとる百田さん

バンドのライブは本厚木駅前や文化
会館、小学校など、市内をはじめ全国

楽しい空間を共にする

れたイベントは、今年で3回目を迎え、
保護者だけでなく地域の人もたく
さん訪れています。
事業所の隣でコーヒー店を営む百田
哲郎さん(71・旭町)も、祭りに協力
店として参加しています。コーヒーを
飲みに来店するスタッフと会話を重ね
るうち、福祉に関心を持っていた百
田さん。「事業所を行き来したり、散
歩したりする皆さんとスタッフのやり
とりを見て、接し方などを知った」と
言います。イベントへの参加だけでな
く、利用者が作った事業所のたよりを
受け取ったり、言葉を交わしたりと、
「皆さんがすぐそばにいろのが日常は、私
にとってごく自然なもの」と、ほほ笑
みます。

2025年に文化会館でライブを開
催予定です。詳細は今後の「ぶんか
情報館」でお知らせします。

で実施しています。年間30回ほどス
テージに立ち、ゲストを招いたり、観
客を巻き込んだりと、その空間をみ
なで楽しんでいます。「一緒に何かを
作り上げるのが大切。その活動の中心
にあるのがロックンロール」。絵画や
工作などのアートやだいじょうぶまつ
りなど、音楽を中心に活動の輪を広
げています。「30年間バンドが続いて
きたのはきつと意味がある。これか
ら長く続けたい」と力を込めるかし
わさん。「包容力のあるまちであって
ほしい。いつか厚木でもロックフェス
ができたら」と笑顔を見せます。

「よし、始めようか。かしわさんの
ギターの音を合図に、みんなが握りし
めたスティックを勢いよく振り下ろし
ます。全力で「生きる」を楽しむ人た
ちが奏でる音楽は、どんな垣根も乗り
越えて、にぎやかに世界へと鳴り響い
ています。



「一緒に関わってくれるスタッフや仲間が増えたら」と願う戸田さん



祭りのマスコットキャラクター・だいじょうぶ



料理の活動では作業を分担してみんなで作る



アトリエに展示する作品



芸術活動で絵を描くメンバー



手作りのお面はライブ会場にも飾る



祭りでは地域のお店も出店

又村さんは最高位の文部科学大臣賞

全国平成水墨画展で市民2人が受賞



市長に喜びを報告した又村さん(左)と佐藤さん(右)

この水墨画展は、9月中旬に埼玉会館で開催。又村さんは文部科学大臣賞、佐藤さんはさいたま芸術文化祭実行委員会会長賞を受賞しました。又村さんは「受賞できて光栄に思う。竜を描いたが、文字どおり昇り竜になってくれてうれしい。これからも描き続けたい」と報告。山口市長は「素晴らしい賞を受けられたことを誇りに思う。細部までの書き込みに加え、迫力があり水墨画への情熱を感じる。文化芸術の聖地を目指すためお力添えを頂きたい」と話しました。

第33回全国平成水墨画展で、又村和夫さん(91・妻田西)と佐藤孝博さん(76・愛名)が受賞し、山口市長に喜びを報告しました。



子どもたちの安全を守るために

厚木北児童館で厚木警察署と連携した研修会を実施

児童館を利用する子どもたちの安全確保に向けた研修会を、厚木北児童館で実施しました。児童館の運営に携わる指導員ら76人が、厚木警察署などから講師を招き児童の安全確保に必要な知識や行動を学びました。実践を交えた研修会は、不審者による事件の増加を受け、市と児童館運営連絡協議会、厚木警察署が連携して初めて開催。講師から、不審者対応の心構えや対処方法を学び、館内への侵入を想定した訓練も実施しました。市では厚木警察署と連携し、「特別警戒実施中」と書かれたのぼり旗やシールステッカーを作成。市内の全38児童館に掲出し、厚木警察署による巡回強化や、今年度中に防犯カメラの設置を計画しています。



警察官の話に聞き入る児童館指導員たち

秋晴れの中で健脚を競う

あつぎマラソンに市内外から922人が出走

秋の厚木路を駆け抜ける「2024あつぎマラソン」を、荻野運動公園を発着点として開催しました。市内外から多くのランナーが参加し、健脚を競いました。39回目を迎えた今回は、高校生以上が走る10キロと市内の中学生対象の3キロのコースをリニール。箱根駅伝5区山登りで活躍した元東洋大学陸上競技部の柏原竜二さん(35)をゲストランナーに迎え、抽選で市の特産品などが当たるラッキー賞も設けるなど、参加者に楽しんでもらうための企画も用意しました。10キロの部のトップでゴールした大島希さん(21・松田町)は「初めての出場で優勝できると思っていたのがうれしかった」と笑顔を見せた。



スタートの合図とともに駆け出すランナーたち

中学・高校生などが歌や演技を披露

市制70周年記念映画のオーディションを開催

オーディションは映画製作委員会が主催。多くの市民が作品に関わることができるよう、市内在住・在学の方を対象に参加者を募りました。当日は、高校生の合唱部員役とクラスメート役に分かれ、審査がスタート。監督やプロデューサーなどに、台本を読みながら演技したり、課題曲を歌ったりしました。オーディションの合格者は今後、合唱練習や演技の稽古を経て2025年3月9日に予定されている撮影に臨みます。映画は26年春の劇場公開を目指しています。



3人1組で演技を披露する参加者たち

市内を舞台に製作される映画「キリコのタクト・YELL」に出演する高校生役のオーディションが、市役所で開催されました。15〜25歳の市民ら43人が、歌や演技を披露しました。



厚木・秦野・伊勢原市、愛川町、清川村の5市町村が観光振興で連携している「県央やまなみ地域」の魅力を、毎月順番に紹介します。紙面では伝えきれない5市町村の観光にまつわるコラムを、ニュースサイトでも紹介します。

第7回 県央の冬のスポット

今年の年末年始はどのように過ごすか、予定は決まっているでしょうか？ゆったりと冬の雰囲気を楽しむスポットは県央5市町村にもたくさんあります。地域オススメのお出かけ先を紹介します。

- 厚木市：あつぎ温泉郷
- 秦野市：まほろば大橋「みなせ富士」
- 伊勢原市：愛甲石田イルミネーション
- 愛川町：八菅山展望台
- 清川村：宮ヶ瀬クリスマス



宮ヶ瀬クリスマスでは気球体験も

ニュースサイトで詳しく紹介しています▶

商業観光課 ☎225-2820



「福祉」という言葉を改めて調べてみると、「幸福。公的扶助による生活の安定、充足」とあります。誰もが地域で幸せに暮らすには、市の取り組みだけでなく、多くの人の支えが必要です。11月の社会福祉大会では、地域で高齢の方や障がいのある方、子どもたちなどに寄り添ってこられた62名と4団体を表彰しました。大会の最後、福祉作文の朗読がありました。小学4年生の白須乙羽さんは、認知症を患ったひいおばあ



福祉作文を朗読してくれた二人と

ちゃんとのやりとりを記した「はじめましてを何度でも」、中学3年生の山口優奈さんは、福祉作文を3年間書き続けた中の気づきと、将来の目標をしたためた「誰でも過ごしやすい社会を未来へ」を披露してくれました。二人の作文から私が感じたのは、家族のそばにいたいこと、周りの人に思いを巡らすことの大切さです。市では、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられる「地域包括ケア社会」の実現を目指しています。高齢者の外出支援や、障がいがある方の就労機会の拡大、18歳までの医療費無償化など、幅広く福祉の充実に取り組みんでいます。多くの人に心を寄せ、皆さんが住んでよかった、住み続けたいと思えるまちをつくってまいります。

タウンガイド

12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

☎=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号
 FAX=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ
 📺=講座予約システム (70th)=市制70周年記念事業
 愛TV/12/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

あつぎのしゃしん。



「秋の大山」
 #11月11日撮影
 #旭町
 #小田急線
 #niceatsugi
 市公式インスタ
 グラムで公開中



12月11～20日は年末の交通事故防止運動・総ぐるみ大会

年末は交通量や飲酒の機会が増え、事故が多くなります。一人一人がルールを守り、交通事故防止に努めましょう。

■市交通安全市民総ぐるみ大会

12月7日、13時30分～。保健福祉センター。交通安全功労者表彰式と県警察音楽隊の演奏。定員100人。無料。☎不要。📺くらし交通安全課☎225-2760。

今日からできる！あゆこちゃん体操

1月21日、14時～15時30分。厚木南公民館。保健師による元気な体を維持するための講話、体操指導員によるあゆこちゃん体操の紹介・実践。血管年齢、骨健康度測定もあり。市内在住の40歳以上20人。無料。☎12月26日までに健康医療課☎225-2201へ。抽選。📺

斎場施設見学会

12月16日、10時30分～12時。市斎場。施設見学と葬儀の説明。定

員30人。無料。☎12月1～15日に市斎場☎281-8595へ。先着順。

訪日外国人おもてなし事業補助金

市内に訪れた外国人観光客向けのパンフレットやメニューなどを作成する事業者、経費の一部を補助します。

《対象》市内で飲食・宿泊・土産品販売・文化観光などの施設を営み、パンフレットやリーフレット、商品メニュー、看板、ホームページなどを外国語で表記・併記して作成する事業者。☎市HPにある申請書を直接または郵送、ファクス、Eメールで〒243-8511商業観光課☎225-2820・FAX223-7875・✉3800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

商店街プレミアム商品券を販売

市内の店舗で使える商品券を販売します。

■あつぎ商和会

《販売日》12月7日、10時～《販売場所》厚木公園《期限》2025年1月19日まで。

70th あつぎ市民芸術文化祭

市民芸術祭

若者の合唱団や市民・交響楽団の合唱・合奏を楽しみませんか。

📺文化魅力創造課☎225-2508

《日時》2025年2月9日 《場所》文化会館

■1部 あつぎユースクワイアによる合唱

《曲目》「ドレミの歌」「YELL」他

■2部 公募市民・厚木交響楽団による合唱・合奏

《曲目》ベートーヴェン「交響曲第9番二短調作品125合唱付き」

《費用》SS席1500円、S席1200円、A席1000円 ※小学生は半額（未就学児は入場不可）

☎12月16日からチケットサイトや、文化会館・厚木楽器で販売。先着順。詳細は市HPに掲載。

詳細はこちら



■厚木みなみ商工クラブ

《販売日》12月15日、10時～《販売場所》参加店舗《期限》25年1月31日まで。

いずれも《価格》1セット5000円（6500円分、500円券×13枚）。1人10セットまで《販売数》1600セット。☎不要。先着順。詳細は市HPに掲載。📺商業観光課☎225-2840。

障がい者への合理的配慮が義務化

障がいと理由とする差別をなくし、個性と人格を尊重し支え合う社会を目指すため、4月1日から民間事業者にも合理的配慮が義務化されました。正当な理由なくサービスの提供を拒否・制限したり、条件を付けたりすることは禁止です。相談は障がい福祉課☎225-2221へ。

あつぎ郷土博物館の臨時休館

12月16～21日はくん蒸作業のため休館します。📺あつぎ郷土博物館☎225-2515。

みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》

■市こども・若者みらい計画の策定（子ども用概要版あり）

《閲覧期間》12月2日～1月6日。

📺こども育成課☎225-2262。

◆犯罪被害者等支援条例の制定

《閲覧期間》12月2日～1月6日。

📺くらし交通安全課☎225-2148。

●厚木愛甲環境施設組合一般廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の制定

《閲覧期間》12月10日～1月9日。📺厚木愛甲環境施設組合☎297-1153。

いずれも《閲覧場所》各担当課、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、保健福祉センター、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、市HP（■は児童館など◆はあつぎセーフティーステーション番屋、●は厚木愛甲環境施設組合と組合HPも含む）《応募方法》閲覧場所にある用紙に掲載。

厚木市 市民参加

検索

12月3～9日は障害者週間

障がいへの関心や理解を深めましょう。📺障がい福祉課☎225-2221

■映画上映会「コーダあいのうた」

《日時》1月19日 9時15分～

《場所》あつぎのえいがかんkiki

《内容》映画の上映と、精神障がいのある皆さんの体験発表

《費用》無料《定員》90人

☎直接、電話または、ファクス、Eメールに〒住所、氏名、電話番号を書き、12月1日から〒243-8511障がい福祉課☎224-0229・✉2100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。先着順。詳細は市HPに掲載。

■障がい者手作り製品の展示・即売会

《日時》12月2～6日 10時30分～14時

《場所》市役所本庁舎

《内容》ポストカードやアクセサリなどの販売

※製品の一部は市まるごとショップ「あつまる」で常時販売

■リーフレット

障がいへの理解を深めるリーフレットを公開中



詳しくはこちら

昆虫マンションをつくらう

伐採した木の幹や枝を使って、昆虫の冬の暮らしを観察してみませんか。
 📺環境政策課☎225-2749
 ☎Eメールに〒住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書き、12月20日までに環境政策課☎3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。📺

《日時》1月18日 10～13時
 《場所》あつぎこどもの森公園
 《内容》木の枝を使った昆虫のすみか作りや朽ち木に生息する昆虫の観察
 《対象》市内在住の小学生と保護者20人

ホット

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中

厚木市 インターネットモニター 検索

📺広報シティプロモーション課☎225-2043

11月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆朝市は地域のつながりとコミュニケーションの場所。日曜の朝が楽しみ／70代以上男性 ◆朝市の歴史を興味深く見ることができた／50代男性 ◆直売所には知らない場所もあり、行ってみようと思った／30代女性 ◆親元を離れて子育てしていた時を思い出した。産後のサポートがあると孤独にならず子育てができる／70代以上女性 ◆今年もどんな大道芸が見られるのか楽しみ／40代女性

編集後記

満面の笑みで演奏するサルサガムテープの皆さん。合間にはお茶を出してくれたり、気さくに声をかけてくれたりと、その表情と柔らかい雰囲気、心のどこかにあった不安などが一気に晴れました。素直に音楽を楽しむ姿や、「指導しない」「みんなOK」などを大切にするバンドとの出会いは私にとって、かしわさんがロックと出合った時と同じように、「価値観が全て裏返った」経験になりました／森

12月4～10日は人権週間

自分も周りも大切に

人権は、誰もが生まれながらに持っている権利で、幸せに生きるために等しく尊重されるものです。周りの人の気持ちに寄り添い、人権の大切さを考えましょう。

☎市民協働推進課 ☎225-2215

■人権ポスター

人権をテーマに市内の中学生から作品を募集し、審査の結果入賞作品が決まりました。

思いやりを大切に

市人権擁護委員会会長賞
高橋桃也さん(荻野中2年)

祖父母に会いに行ったときに喜んでくれる顔を思い浮かべながら描きました。笑顔いっぱい表情が伝わればうれしいです。これからも思いやりの気持ちを持って、家族や友達、関わる人を大切にしていきたいです。

受賞一覧はこちら

■人権相談

人権擁護委員が相談に応じます。一人で悩まず、気軽に相談してください。

日時 第1～4水曜 13～16時 場所 市役所本庁舎

内容 セクハラやパワハラ、家庭内暴力、体罰やいじめ、差別などの人権相談

☎不要。

市制70周年
カウントダウン

市制70周年に向けたカウントダウンを11月23日から市HPなどで公開しています。市にゆかりがあり各分野で活躍する方たちや、応募のあった市民の皆さんが日替わりで登場します。

☎企画政策課 ☎225-2450

70周年記念作品を制作中のアーティスト・井上純さん

公開場所

- ・市HP(特設サイト)
- ・駅デジタルサイネージ

応募した市民の皆さんも登場

厚木出身の落語家
柳家 菰三郎さん

特設サイトはこちら

自然歳時記

●コゲラ●
キツツキ科

黒と白の模様をした全長15センチほどの小型のキツツキ。山地から丘陵地に多いが、最近は住宅地にも現れるようになった。「ギー、キツキツキ」と鳴き、木を突く姿を見かける／下川入で見つけた。 写真・文／吉田文雄

柿の木にスズメぐらいの大きさの鳥が現れ、「コンコン」と木を突き始めた。上手に虫を捕ると丸のみした。暖かな日差しが背中に当たり、気持ち良さそうに羽を少し垂れ、居眠りを始めた。コゲラが居眠りをするのどかな光景を初めて見た。

数分すると「ギー」と一鳴きし

クヌギの木に飛び移った。固い尾羽は幹を登る時に役立つ。ドングリの実を見つけると、一心不乱に突き始めた。虫がいると確信したようだ。双眼鏡で見ると頭頂部に少し赤い羽根が見える雄のコゲラだった。

今日はコゲラにとっても穏やかな小春日和であった。

厚木市の人口
(11月1日現在)

世帯数 10万6212世帯 (前月比59世帯増)

人 口 22万3607人 (前月比97人減) 男11万5241人・女10万8366人